

《溝の深さと異状な摩耗》

- 溝の深さに不足がないかをウェアインジケータ（摩耗限度表示）により点検します。
ウェアインジケータがあらわれたときは、使用限度ですのただちにタイヤを交換してください。
- タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

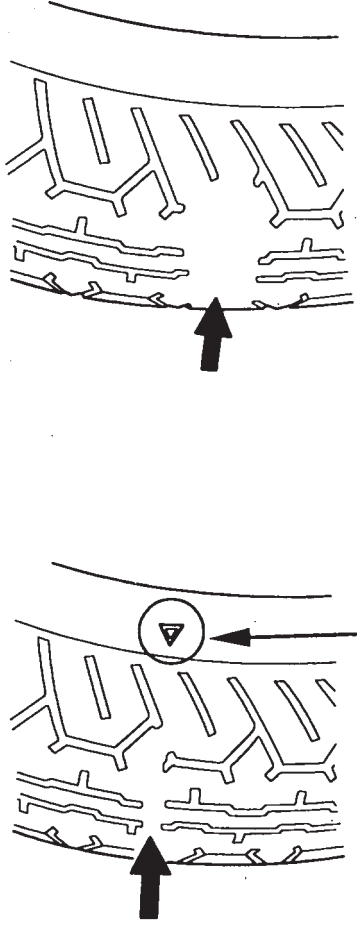
《金属片、石などの異物》

タイヤの接地面や側面に、釘や石などがささったり、かみ込んだりしていないかを点検します。

注意

- 空気が正常でなかったり、タイヤに亀裂損傷や異常摩耗があるとハンドルをとられたり、パンクの原因になります。

異状な摩耗



ウェアインジケータ 表示マーク

